

お 願 い

本誌 第14巻の製本にあたっては5月号 (No. 5) を7月号 (No. 7) と8月号 (No. 8) のあいだに挿入していただくようお願い申し上げます。それによってページ数は一貫いたします。ご迷惑をおかけしてまことに恐縮に存じます。

泌尿器科紀要編集部

NOTICE

When you bind this volume (Vol. 14), please put No. 5 (May) between No. 7 (July) and No. 8 (August) to correct a paging error. Thank you.

編 集 後 記

謹賀新年

会員の皆様よきお年をお迎えのことと思います。昨年度は編集子が不慣れのため月々掲載の論文は勿論巻頭の随筆も屢々手違い等で思わしくない成績であったが追々論文のストックも出来、本年はどうやら順調に軌道にのりそうである。今月号には中部連合地方会のシンポジウム“腎腫瘍の診断と治療”の概要原稿を会長のお許しを得て掲載、また随想には小酒井博士の玉稿を頂戴し掲げることとした。乞御一読。なおこの機会に多年本誌編集に尽力された酒徳博士が年末山口大学へ栄転されたことを報ずる共に同君の御発展を祈る次第である。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,800円を前納する。1冊料金 150円(送料別)。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例. 1) 中野：泌尿紀要, 1: 110, 昭30. 2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行なう。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第1号

定価150円
(送料別)

昭和43年1月25日 印刷

昭和43年1月31日 発行

顧 問 稲 田 務

編集発行人 加 藤 篤 二

発 行 所 泌尿器科紀要編集部

京都市左京区聖護院川原町53

京都大学医学部泌尿器科学教室

電 話 ⑧ 8111 学 内 5806

印 刷 所 山代印刷株式会社

京都市上京区寺之内通小川西入